

荒川地区地域活性化推進事業案について

アクションプラン掲載項目の具現化策意見（平成24年度の審議から）

テーマ1 地域資源（清流荒川等）を守り活かして、産業の活性化につなげていく具体的方策について

① 清流荒川をPRするパンフレットの作成と配布
② 総合運動公園「ホタルの里づくり」で清流のイメージアップ
③ まちぐるみで取り組む「鮭の稚魚 育成・放流事業」
④ 釣り客受入れ態勢（漁協や旅館などのサービス等）の改善～旅館に泊まった場合は釣り券を半額にするなど
⑤ 「荒川米」の復活
⑥ 子どもが川で遊べるための取り組み（漁協、学校、PTAとの連携）
⑦ 鮎の塩焼きや鮭のつかみ取りをさせるイベント
⑧ 鮭文化を若い世代につなげていくような取り組み
⑨ 食べ物に関するイベント
⑩ キラキラフェスティバルとタイアップさせる取り組み
⑪ 高坪山で事業を検討してまちづくり協議会と連携する
⑫ 清流荒川の鮎釣りや荒川大祭を結び付ける
テーマ1 以外
⑬ 機関車を駅前に移動させ、まちのシンボルに

テーマ2 県立坂町病院の医療体制充実につながる取り組みについて

① 病院内で病児保育ができるような取り組み
② 坂町病院から地域住民に対する情報発信を促進し、地元からも情報が得られる仕組みづくり
③ 地元住民との交流の機会をつくる（坂町病院の資料から）
④ 地元行政と病院の職員連携組織をつくる

テーマ3 住環境を向上させ、人が定着できるまちづくりを推進する取り組みについて

① ウオロクの出店計画に関して、農産物直売所を有効に展開する方法を検討
② 「道の駅」のような施設の構想
③ ニュータウンくろっかす周辺で若い人たちが定住しやすいような開発を計画
④ 歴史ある家屋の保全に対する支援を検討
⑤ 国道沿い、商業地域、病院等を一体的に捉えた土地利用（宅地化）計画を検討
⑥ 荒川地区で病児保育を実施するための取り組み（県立坂町病院と連携）

※大きな事業となるものは具体的な形の計画を策定して、地域一丸となって要望を行う

提案1 総合運動公園「ホタルの里づくり」実験

総合運動公園周辺にホタルが生育できる環境をつくり、幼虫を飼育してカナル等に放流する。ホタルが数多く飛ぶ公園が実現できれば、「清流を育む豊かな自然」として、あらかわ地区や農産物のイメージを高めることができ、総合運動公園にも新たな目的を創出することができる。

まず環境を調査し、経験者の意見を聞きながら、少量の幼虫の飼育、実験的な放流を行う。その後は、まちづくり協議会や有志グループの活動につなげていくなど、長いスパンでの実現を目指していく。

提案3 子どもたちが川で遊べるための取り組み

水質日本一の清流荒川は当地区の代表的地域資源であるが、釣り愛好者や一部の行事で活用されるものの、地域住民の多くは荒川との接点がほとんどなく、子どもたちも「川で遊ばないように」という風潮の中で育つ。川の特長や安全な遊び方を知ることにより、荒川をもっと身近な存在にし、多様な活用につなげていく取り組み。

取り組み①小中学校との意見交換

取り組み②川の指導者の養成及び安全に遊ぶための体験実習等

取り組み③物品等の整備（ライフジャケットやゴムボートなど）

取り組み④取り組み継続の方策として、総合型スポーツクラブや学校との連携を模索する（荒川を活動フィールドにしたプログラム）

考えられる経費

講習会参加費、物品等購入費、体験実習会経費など